



市民生活の安心・安全、子育て支援の充実へ

**一般会計予算は
203億9,000万円
前年度比7.7%増**

一般会計の歳入には、市税をはじめ、国から交付される地方交付税や国庫支出金、市債と呼ばれる借入金などがあります。歳入内訳で最も金額が多いのが、市税の約82億円で、歳入全体の40%を占めています。次いで多

いのが、市債の約27億円で、歳入全体の13%を占めています。一般会計の歳出には、高齢者福祉や子育て支援などの民生費、各種計画策定や徴税、選挙などの総務費、道路や公園整備などの土木費、学校教育の充実などの教育費などがあります。歳出内訳で最も多いのが、民生費の約76億円で、歳出全体の37%を占めています。次いで多

いのが、総務費の約39億円で、歳出全体の19%を占めており、このうち庁舎建設事業経費として約18億円が含まれています。次に、教育費の22億円、土木費の21億円が続き、それぞれ歳出全体の10%を占めています。その結果、北本市一般会計予算は、総額で203億9,000万円となり、平成24年度と比較すると7.7%の増加となります。



どう使う 北本市のお金

平成25年度予算の紹介

予算とは、市の1年間の収入と支出の計画であり、まちづくりの設計図といえます。私たちのお金がどのように使われ、暮らしの中でどう役立っているのかを知ることが市民役のまちづくりの出発点です。

平成25年度予算が3月定例市議会で可決されました。一般会計の総額は343億円で、前年度に比べて4.5%の増となりました。ここでは、平成25年度予算の概要についてお知らせします。

市の予算には、大きく分けて一般会計と特別会計があります。一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計は、特定の事業のための会計で、国民健康保険などが該当します。特別会計に納められた保険税(料)はその事業費にあてられ、他の事業には使われません。特別会計で行われる事業以外の事業は一般会計で行われます。



一般会計歳出性質別内訳 (単位:千円、%)

性質別	区分	平成25年度		平成24年度		比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
消費的経費	義務的人件費	3,940,098	19.3	4,034,367	21.3	△ 94,269	△ 2.3
	扶助費	4,071,750	20.0	3,941,125	20.8	130,625	3.3
	公債費	1,574,196	7.7	1,552,604	8.2	21,592	1.4
	維持補修費	9,586,044	47.0	9,528,096	50.3	57,948	0.6
	物件費	3,216,645	15.8	2,961,017	15.6	255,628	8.6
	補助費等	2,341,381	11.5	2,233,753	11.8	107,628	4.8
	普通建設事業費	15,207,026	74.6	14,784,346	78.0	422,680	2.9
投資的経費	災害復旧事業費	—	—	—	—	—	—
	失業対策事業費	—	—	—	—	—	—
	普通建設事業費	3,047,616	14.9	1,965,731	10.4	1,081,885	55.0
その他	積立金	3,047,616	14.9	1,965,731	10.4	1,081,885	55.0
	積立金	118,532	0.6	151,135	0.8	△ 32,603	△ 21.6
	投資及び出資金・貸付金	42,601	0.2	43,401	0.3	△ 800	△ 1.8
	繰出金	1,954,225	9.6	1,975,387	10.4	△ 21,162	△ 1.1
	予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0
合計		20,135,358	100.0	2,189,923	11.6	△ 54,565	△ 2.5
合計		20,390,000	100.0	18,940,000	100.0	1,450,000	7.7

平成25年度予算の内訳 (単位:千円、%)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	20,390,000	7.7
特別会計	13,936,362	0.1
後期高齢者医療	606,100	9.4
久保特定土地区画整理事業	378,600	1.0
公共下水道事業	1,398,900	△ 22.0
国民健康保険	7,969,500	2.2
介護保険	3,582,700	5.5
埼玉県広域公平委員会	562	△ 1.2
総計	34,326,362	4.5

【用語解説】

一般会計…行政運営の基本的な経費を計上した会計で、地方公共団体の会計の中心をなすものです。
特別会計…特定の歳入をもって特定の歳出にあてる事業で、一般会計とは区分して経理する必要がある会計です。これらは条例により設置しています。

安心して子どもを産み、 育てることができるとまちなちをめぐして

学校4・3・2制研究モデル校 非常勤講師配置事業

588万円

義務教育9年間のそれぞれの発達段階における課題の着実な克服を通し、子どもたちの総合的な力を高め、また小学校から中学校に進学した際、学校生活になじめない「中1ギャップ」を解消するため、小中学校1校ずつをモデル校に指定し、学校4・3・2制を導入します。

この事業は、小学校5・6年生と中学校1年生で、理科や体育等の教員の相互乗り入れ授業や小学校の学年内教科担任制を推進し、中学校の教科担任制へスムーズな移行を図るものです。また、小学校低学年での幼稚園や保育園との連携もさらに進めていきます。

子どもたちの不安が少しでも解消し、楽しく元気に学校に通えることが大事ね。



学力向上支援員 配置事業

1,287万円

それぞれの子どもに応じた学力向上を図るため、学力向上支援員を2人増員し、小学校14人・中学校4人の配置体制とします。

学力向上支援員は、通常の学級に配置され、子どもたちの支援を行います。



0歳児おむつ 無料化事業

1,831万円

子どもの健やかな成長や子育て中の家庭の経済的負担の軽減を図るため、0歳児おむつ無料化事業を開始します。この事業は、0歳児を養育する保護者へ市内登録店舗で紙おむつを受け取ることができ、クーポン券を配布するものです。クーポン券は、出生時に1年分35枚を交付し、クーポン券1枚でおむつ1袋と引き換えることができます。

家庭、地域、行政が協働で温かく子育てを見守りながら地域社会全体で支援するまちなちになってほしいな。



保育所施設 耐震補強事業

1,328万円

多くの乳幼児が一日の大半を過ごす生活の場である保育所の安全性を確保するため、劣化が進んでいる保育所の耐震補強事業を実施します。

くらし 安心・安全で 快適なまちの実現をめざして

第一種低層住居専用地域の 容積率見直し事業

700万円

第一種低層住居専用地域において、これまでの形成されてきた低層住宅地をより有効なものとし、市民ニーズや住まい方の多様化などに対応するため、容積率の見直しに着手します。



外から居住地を探している人にとっては、建築設計の自由度が高まり、住まい方の選択肢が広がることになり、ファミリー世帯等の転入増が見込まれます。

また、リフォーム等の増築や2世帯住宅への建替えが可能になることで転出減が期待でき、その結果、人口減少対策としても有効と考えています。

これまでに形成されてきた低層住宅地を保全しつつ、2世帯住宅への建替えなど土地をより有効に活用できるようになるな。



駅前防犯カメラ設置事業 および公用車 青色回転灯装備事業

225万円

地域のだれもがいつまでも安心・安全で暮らせるまちをつくる取り組みとして、北本駅前広場に

ゾーン30事業

2,200万円

生活道路における交通安全対策として、平成25年度からの3か年で、国道17号と中山道の間の指定された一部区間についてゾーン内の制限速度を時速30キロとし、路側帯(白線やグリーンペ



おける治安の維持、犯罪の防止のため、東西駅前広場に防犯カメラを設置します。

また、市内における街頭犯罪等の防止のため、脱着式青色回転灯を公用車27台に装備し、防犯パトロールを行います。

一般旅券の申請受理、 交付事業

294万円

現在、県で行っている旅券発行申請事務の権限移譲を受け、平成25年11月5日から北本市で旅券事務を行います。

市では、平成25年度の新庁舎の開庁にあわせて、パスポートの申請・交付事業を市役所市民課で開始します。

パスポートの申請手続きに必要な戸籍謄本や戸籍抄本も、北本市に本籍のある人は、パスポートの申請時に同時に取得できますので、ワンストップサービスによる利便性の向上が図れます。

身近な場所でパスポートの申請や交付が受けられると交通費や時間などの負担が軽減され便利になるね。



北本市長
石津賢治

平成25年度にあたって

新年度予算では、市の長期計画であります第四次北本市総合振興計画に掲げる将来都市像の実現に向けた施策・事業を中心に、市民生活の安心・安全、子育て支援の充実、教育環境の向上に配慮しました。

この内容を具体的に申し上げますと、新規事業では、全国初の取り組みである学校4・3・2制研究モデル校非常勤講師配置事業の導入をはじめ、子育て支援の0歳児おむつ無料化事業、交通安全対策のゾーン30事業、防犯対策の駅前防犯カメラ設置事業や公用車青色回転灯装備事業、新庁舎の開庁にあわせ、旅券(パスポート)の申請受理交付事業などを実施します。

今後も市の財政は厳しい状況が続くものと予測されますが、行財政改革に取り組みながら、健全な行財政運営に努めるとともに、市民サービスの向上と事務改善を進めてまいります。

総合振興計画にもとづく主な事業

未来につなぐ夢のある学びのまち

生涯学習・教育

- (仮称)こどもプラザ整備事業(こども図書館) 2,590万円
平成26年度秋完成予定の(仮称)こどもプラザ整備工事を開始します。
- 文化センター外構改修事業 5,000万円
文化センターの南側エントランスまわり、駐車場等の外構改修を行います。
- 北本ピアノコンクール10周年記念事業 55万円
北本ピアノコンクールが第10回目を迎えるにあたり、記念事業を開催します。

心かよう健やかなまち

保健・福祉・医療

- (仮称)北本市子ども・子育て支援事業計画策定事業 449万円
子ども・子育て支援法に基づき、(仮称)北本市子ども・子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査を実施します。
- (仮称)こどもプラザ整備事業(児童館) 5,250万円
平成26年度秋完成予定の(仮称)こどもプラザ整備工事を開始します。
- 未熟児養育医療給付事業 1,726万円
心身の発育が未熟な状態で生まれ、入院治療が必要な乳児の医療費(医療保険対象の自己負担部分)を、保護者負担額を除き、国1/2、県1/4、市1/4の割合で負担します。

緑輝くうるおいのまち

環境・景観

- 第3次北本市地球温暖化対策実行計画策定事業 200万円
第2次北本市地球温暖化対策実行計画の期間が平成25年度に終了することに伴い、社会、経済状況の変化等を踏まえ、第3次計画を策定します。
- 石戸蒲ザクラ周辺整備事業 4,875万円
石戸蒲ザクラ保護及び周辺整備基本計画に基づき用地取得に努め、事業を推進します。
- 「蒲ザクラ」支柱整備事業 105万円
老朽化した蒲ザクラT型支柱の取替えと増設、根元の板碑の撤去を行い、蒲ザクラの周辺環境の整備を行います。

快適で安心・安全なまち

都市・生活基盤

- 防災行政無線親局操作卓更新工事 5,271万円
老朽化した操作卓を庁舎建設に併せて、Jアラート自動起動および自動電話応答等の機能を備えたものに更新します。

「業」を耕す活力のまち

産業

- 石戸宿地区農業農村整備事業 3,654万円
利用集積の推進および遊休農地防止対策として石戸宿地区内の道路等未整備地区に道路を整備します。
- サマーフェスタ事業補助金 180万円
商工会と商店街等が地域貢献事業として実行委員会を組織し、まちのにぎわいづくり、活性化に向けて実施するサマーフェスタ事業に対し補助金を交付し支援します。
- 企業誘致奨励金 1億2,300万円
条例に基づき、指定企業からの申請により固定資産税相当額を施設設置奨励金として交付します。また新規雇用者に応じて雇用促進奨励金を交付します。

みんなでつくる参加と交流のまち

市民自治

- 自治会集会施設整備事業 800万円
西2地区自治会集会所整備に対し、補助金を交付します。
- セーフコミュニティ推進事業 638万円
北本市セーフコミュニティ推進協議会および(仮称)北本市外傷調査委員会の開催等を行い、認証のための事前審査を受けます。

計画の推進に向けて

- ISO9001認証取得事業 473万円
効率的で間違いのない事務の実施を確立させるため、ISO9001の認証を取得し、事務改善を進めます。
- 住民参加型市場公募債発行事業 180万円
(仮称)こどもプラザ建設に向けて、「(仮称)こどもプラザ市民債」を発行します。